

北上市P連会報

第39号

—発行日—
平成29年
(2017年)
12月15日

発行：北上市PTA連合会

企画編集：広報委員会

印刷：北上アビリティセンター



北上・みちのく芸能まつり 市民パレード

昨年に引き続き、北上中学校、飯豊中学校、北上北中学校が参加しました。今年是最優秀賞に飯豊中学校、特別賞に北上北中学校が受賞です。地域学校協働活動として、子どもたちの社会貢献意識、地域への愛着、コミュニケーション力の向上を促し、子どもの学びや成長を支えるPTA活動です。地域の行事を盛り上げたことはもちろんのこと、仲間とともに目標に向かって努力し成し遂げるという経験で、子どもたちは多くの大事なことを学んだのではないのでしょうか。

目次	□特集 地域協力・地域連携 P 2	(東陵中、照岡小、いわさき小、和賀西小)
	□地域協力、地域連携によるPTA活動 P 3	□報告 1 母親委員会の活動 P 7
	(北上中、更木小、江釣子中、南小)	□報告 2 研修大会 P 7
	□PTA紹介 P 5	□市P連会長あいさつ・編集後記 P 8



特集 地域協力・地域連携

自然の中で遊びを自給

みんなで作る秘密基地

～口内秘密基地プロジェクト～



「秘密基地っていいよね」

2016年に北上市と東北大学の共同研究「北上ライフスタイルデザインプロジェクト」*1のイベントに参加したときに言われた一言。

全てはここから始まりました。

今回活動するにあたり、口内小学校PTAを主体に東北大学や北上市、地域の交流センターやNPO、健全育成会で実行委員会を立ち上げ、また沢山の方々の協力をいただきながら進めてきました。

その中で、自分達では気づかなかった事へのご指摘やアドバイスも多々いただき悩むこともありましたが、最終的に行き着く答えは、「子どもたちの為に」ということです。

どうすれば安全に最大限楽しめるか、どうすればやりたいことを盛り込めるか、これに向けて協議し、一部内容の変更もしました。結果、事故もなく、楽しく夏の活動を終えることが出来ました。

そしてこの秘密基地では、大人たち自らが心から楽しんで活動しているのも一つの特徴です。この大人たちの背中を見て、子どもたちが何かを感じ、新たな化学反応が生まれることを期待しています。

最後になりますが、今後はコンセプトでもある「自然の中、遊びを自給する」をもっとたくさん子どもたちに体験してもらえるように、活動の発展、情報発信をしていきたいと思ひます。

(口内秘密基地プロジェクト実行委員会)

【2017年活動状況】

- 5月…実行委員会立ち上げ、活動に向けた準備調整
- 6月…大人が基地のベースとなるウッドデッキを製作
- 7月…児童へアンケートの実施（基地に欲しいもの）
秘密基地活動の開始
～夏休み期間中に大人見守りの中活動～
 - ・竹すべり台、つり橋（綱、丸太）、テーブル、竹細工、基地旗等の製作
 - ・デッキの塗装、チップ敷き等の作業
- 8月…完成お披露目会 流しそうめん

参加した子どもたちの感想

- ・遊具が楽しい（つり橋、ターザン、滑り台等）
- ・何回来て遊んでも面白い
- ・ペンキ塗りが楽しかった
- ・つり橋が迫力ある



*1 詳しくは北上市のHPをご覧ください
<http://www.city.kitakami.iwate.jp/docs/2017053000015/>



北上中学校

当PTAは、『家庭・地域・学校との行動連携「向上一路」』を活動目標に、中学校が掲げる教育目標や教育課題の解決に向けて、連携した取り組みを行い、主役である子供達が「生きる力」を身に付けていくための重要なサポーターとして、学級懇談会、各種専門委員会、せなかの会（父親の会）など具体的・実践的な活動を行っています。

地域と協力・連携した取り組みの一端として、地区懇談会がありますが、この地区懇談会は毎年開催（中学校区を4区分し4回開催）し、保護者の参加はもちろんですが、区長さんや自治公民館長さん民生児童委員さんなど地域の関係者の皆様にも多数ご参加をいただき、学校生活や家庭生活、地域での様子を情報交換し合いながら、家庭・地域・学校が相互に理解を深めています。



また、雪まろげ隊（高齢者宅の除雪活動）やハウスクリーニング☆プロジェクト（高齢者宅のガラス清掃活動）、地区運動会の運営補助など、子どもたちが地域活動や地域行事に積極的に参加できるのも、地域のご支援・ご協力の賜物です。

私達PTAは、地域の方々子どもたちを常に温かく・優しく見守ってくださっていることに大変感謝をしていると同時に、今後も更に連携した取り組みを行って参りたいと思っております。

最後に、北上中学校は本年度創立70周年を迎え、11月3日に記念式典・記念祝賀会開催など記念事業を実施しましたが、これも学校・地域・PTAが協力・連携のもと実行委員会を組織し取り組みを行ったものです。



更木小学校

更木小学校PTAでは、小さな町、小さな小学校の特色を生かした活動を目指しています。共働き家族も多い中で、いかに地域の皆さんと支え合いながら子どもたちを見守るかが重要課題となっています。田植え、稲刈り、下舞いなどの指導も地域住民の方のお力をお借りしながらの学習となっていますが、最も大きな活動としては、更木町民、更木小学校合同運動会でしょう。

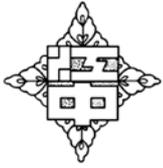
小学生のみならず、地域のみなさんが一緒に汗を流す運動会となります。年代を越えて、お母さんお父さんから、おばあちゃんおじいちゃんの雄姿もみられる一大イベントです。小学生たちは、赤組白組のみならず、自分の地域の応援も必死です。普段、遊べないお父さんの本気の姿を目の当たりにし、いつも優しいおばあちゃんが必死になる姿を垣間見るのもこの日です。運動会の計画や当日の用具準備も、子どもと大人がそれぞれに役割を果たすことで、見るだけではない、すべてが一体となった充実感を得られます。

その後の反省会でも、それぞれの地域に分かれ



て行われますが、自分の子供や孫だけではなく、他の子どもたちを褒めあい、悔しさを共にすることも非常に大切なメリットであると思います。

私にとっては、PTAであるとないとに関らず、地域の住民全員が、子どもたちを見守り応援するというのが、どれだけ大切かを痛感する一日でもあります。PTA会員も仕事の都合で、活動に参加するには限度がありますが、これからも地域の皆さんのお力を頂戴しながら、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。



江釣子中学校

昭和53年8月11日、子どもたちに夏休みを無為に過ごさせないようにとの計らいや、伝統芸能の継承活動を通して、学区内17地区のPTAの方々だけでなく、もっと地域の人々との人間的ふれあいを深め、生徒の健全な育成を目指すことを目的として芸能発表会が計画され、今年度第40回を迎えることができました。

芸能発表会当日に向けて、主に夏休み期間中や地域によっては早い時期から各地区の公民館等を会場に練習を積み重ねて発表しています。指導者や現PTA会員も生徒時代に芸能発表会を経験した方も多くなり、現在は江釣子中学校PTAと江釣子地区交流センターとの共催行事として地域全体の行事となって根付いています。近年は、県内



の芸能団体を招待しており、本年度は山田境田虎舞が披露しました。

特筆できることは、生徒全員参加の行事であり、17地区ごとに異なる郷土芸能に取り組むこと、集団不適應の傾向にある生徒の中にも、地域の練習会に参加し、発表当日もきちんと演技をする生徒がいるなど、学校、学級とは別の人間関係を育む要素をもっていること、地域の行事になったことで、生徒、PTA、地域の絆を深める行事に昇華していることであると評価しています。



南小学校

記憶に新しく印象に残っていることは、昨年開催された「いわて国体」です。メイン会場の北上総合運動公園が隣接する南小学校のPTAとして、何か選手の皆さんにおもてなしが出来ないだろうかと考え、歓迎すべく「大看板」と激励すべく「応援メッセージプレート」を作ることを計画しました。

この実現に向けて打ち合わせを重ね、より盛大なものを作ろうではないかと意気込み、近隣の鬼柳小学校PTA・南中学校PTAにもご協力いただきました。

大看板製作には、PTA広報にて有志を募りました。南小学校内の一画で、子供から大人まで真夏の暑い中ペンキ塗り作業をして頂きました。この様子は、北上市広報に取り上げられました。大看板の組み立てと設置も有志を募り、地域の皆様にご協力いただきました。



応援メッセージは、各家庭から競技種目別に応援メッセージを募集し、役員会議にて20作品に厳選しました。

選ばれた心に響く応援メッセージを、青の亚克力プレートに金のインクで渾身の文字で書いていただき、会場入り口の階段に設置しました。

こうして熱い思いが込められた歓迎の大看板と応援メッセージプレートは見事に完成しました。

この取組は、伝統文化等の定期的な行事ではありませんが、PTAと地域のみんなで助け合い連携プレイが出来たことをとても誇らしく思います。今後も、相去・鬼柳地区のこの団結力を大事にしていきたいと思っています。

PTA紹介



東陵中学校

本校は、口内・黒岩・立花・稲瀬の4地区を学区とし創立23年目を迎えます。

数ある活動の中で、今回は二つあげたいと思います。一つは運動会で演じられる「東陵エアロビ」です。地域に伝わる伝統芸能や各部活動の動きを取り入れたオリジナルのエアロビクスで、全校生徒が演じる姿は、躍動感にあふれ壮観なものです。残念ながら本年度は、季節外れのインフルエンザの流行で運動会が中止になってしまいましたが、後日の参観日、猛暑の中にもかかわらず元気一杯に演じてくれ、毎年の事ですが感動しました。

二つ目は「合唱」です。本校の文化祭で、学級・



学年ごと、そして全校で発表します。それぞれ素晴らしいですが、特に三年生は厚みがあり流石！と思います。毎年参加している「IBC子ども音楽コンクール」は、例年ですと3年生だけが出場するのですが、今年度は人数が少ないため、吹奏楽部の1・2年生も参加しました。子ども達の成長を感じる迫力ある素晴らしい合唱で、本年は見事「優秀賞」を頂きました。

これらの東陵中学校の伝統が上級生から下級生へと代々引き継がれています。この他にも地域のボランティアに参加するなど色々な活動を進めています。今後もこれらの活動がますます活発になる様、PTAも見守り協力していきたいと思っています。



照岡小学校

照岡小学校は、児童数54名、PTA会員42名です。児童は、お隣の奥州市江刺区稲瀬からと北上市稲瀬町から約半数ずつの児童が通っています。中学校区は違っていますが、この6年間でお互いの地域の良さを体験しながら成長していきます。

さて、照岡小の活動を紹介します。6月には「まるごと参観日」があり、子どもたちの様子を保護者、祖父母、そして地域の皆さんに公開して見てもらいました。授業参観の後、6年生とその保護者を対象にした、「心肺蘇生法」が行われました。これは、研修広報委員会が企画したものです。北上消防署から講師を招き、心肺蘇生法はもちろん、AEDの使い方も指導していただきました。他の学年の保護者の皆さんも多数参加され、命を守るための関心の高さが感じられました。

次に、冬休み中に行われるのが、「小正月行事」です。この行事では、春に子ども達が植えた苗を秋に刈り取り、脱穀したもち米で餅をつき、みんなでいただきます。また、小正月の伝統を地域のお年寄りに教えてもらい、地域との絆を深めます。伝統を引き継ぎ、次の世代へ伝えるのもPTA活

動の大きな役割だと考えます。

子どもたちが、心の豊かな人間に育つよう、これからも保護者、教師、そして地域がうまく連携して行けるよう努力していきます。





いわさき小学校

いわさき小学校PTAは会員98名(教職員13名)、生徒数は110名です。岩崎、岩崎新田、煤孫の3つの地区が合併し本年度で創立から10周年を迎えました。合併したことにより学区は広くなりましたが、各地区の歴史と伝統をしっかりと継承しPTA事業や学校行事への協力、地域活動を通して交流を深めています。

PTAには学年委員長会、地区委員長会のほか広報、厚生の2つの専門委員会構成され、各会で企画・立案した事業を展開しています。どの会も子どもたちの健全育成を第一に、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいます。すべての事業に対し、少ない会員数ながらも協力し合いながら、ほとんどの会員が主体的に参加し活動して



います。

また、いわさき地区には古くから伝わる郷土芸能、岩崎鬼剣舞、岩崎新田鬼剣舞、煤孫ひな子剣舞があります。伝統をしっかりと後世に残していくために、各保存会の方々のご協力のもと子どもたちは日々練習を重ね、様々な行事や祭りなどで披露しています。子どもたちが伝統という誇りを胸に生き生きと踊っている姿を見ると、うれしくもあり、頼もしく感じます。子どもたちが郷土芸能の関りから「いわさき」という地域に更なる郷土愛が芽生えることを心から願っています。今後もいわさき地区の子どもたちの健全育成を願って、学校・家庭・地域が一体となって力を合わせ活動していきます。すべては子どもたちの笑顔のために。



和賀西小学校

「はばたくわにっ子に、PTAの輝く大きな背中を」これが和賀西小学校PTAのテーマ(スローガン)です。

「わにっ子」は和賀西小学校の子どもたちで、ワニは学校のマスコットキャラクターで、ぬいぐるみもあります。

和賀西小学校は、平成4年4月4日、横川目小学校・山口小学校・岩沢小学校・仙人小学校を統合し開校しました。同じ年に和賀西小学校PTAが設立されました。



和賀西小学校PTAで特徴的なのは、設立以来続いているPTA特別会員の制度です。PTAと学校を地域で支援するもので、PTAの収入の半分は、特別会員の会費でまかなわれています。地域が学校を支える意味では、主にPTAのOBが中心ですが、学校支援ボランティアも行われています。読み聞かせ・家庭科実習・豆腐づくり・水質調査・米づくり・水泳・スキーなどの講師として地域の方に指導をいただいています。

特にも今年度は、和賀西小学校創立25周年を迎



え、記念行事として、学校・PTA共催で、地元の「月山」で親子登山を行いました。120名あまりの参加で、事故等もなく無事登山ができたのは、山岳会をはじめとする学校支援ボランティアさんのおかげです。

和賀西小学校PTAの基本的な考え方の「地域の持つ総合的な教育力の大切さ考えたPTAの取り組みを探る」が伝統になっています。



報 告

平成29年度 北上市 PTA 連合会 母親委員会の活動

情報社会と子どもの安全、食育研修

平成29年度の母親委員会は、小原啓乃委員長（二子小学校）のもと、9校の母親で組織し活動を進めてまいりました。

例年の「食育」研修に加えて、今年は委員からの要望が高かった「子どもの安全安心」をテーマとし、7月14日（金）北上市まちづくり部地域づくり課生活安全係長の菊池嘉雅様を講師に、市内の治安情勢、子どもの声かけ事案の詳細や、市の取り組み等の現状を説明いただきました。

なかでも、スマートフォン・SNS の話題については、なかなか大人たちが理解できていないことや、情報に乗り遅れていること、言い換えると子どもたちが大人よりも使い方を熟知し、楽しんでいる現状であることに、参加者一同、強い危機感を持ちました。

対策としては、利用のルールを決め、守る。有害サイトから子どもたちを守るフィルタリングの徹底をすることが示され、基本的なことをしっかりと行っていくことを確認しました。その後の意見交流会でもたくさんの話題が出され、さらに安全に対する気持ちが深まりました。

食育については11月17日（金）に中央学校給食センターを会場に、施設見学と給食の試食会を行いました。センター長から概要説明を受け、市内3つのセンターの違いや、安全で安心な給食調理への取り組みなど、現場の思いや姿勢を心強く感じました。

試食メニューは、地産地消「おにっこ給食」の日であり、ほうれん草、キャベツ、人参、大根、ブロッコリー等、北上市産の食材がたくさん使われていました。

参加した母親委員は、人気のお米のムースに舌鼓をうちながら、地元食材をさらに引き立てる献立や調理に驚きを感じ、今回の施設見学を振り返りながら、今後のさらなるセンター運営に期待を寄せていました。



（母親委員会担当 木野 渉）

平成29年度 北上市 PTA 連合会 研修委員会の活動



「でっかい子育て、人育て」 ～学校とPTA（教師と親）のリーダーシップ～

11月12日に江釣子地区交流センターで行われた研修大会では、有限会社クロフネカンパニー代表取締役社長の中村文昭氏を講師に迎え、上記テーマを基に講演いただきました。

心の病を持った人たちに、農業を通して人と比べられることなく、自給することの喜びを伝える話から始まり、自身の体験談より、人生の師匠を見つけて成功する過程、その後、我が子の成長等を、関西弁も相まってとにかく楽しく分かり易くお話いただきました。

中でも印象的だったのが、子どもの頃家に帰ると母親が「お帰り！」「どうやった？」と楽しそうに聞いてくるので、「よっしゃ、もっと喜ばせたら！」と人を喜ばせる喜びを覚えたこと。何のために勉強しているのか、仕事しているのか、理由に出会えるかが大切な事。わが子の話で、長男は「本場の英語を勉強しに海外に行く」と言い中学生のうちにニュージーランドに留学、次男は中学卒業後に専門学校に行きたくて「高

卒以上の意味が分らん」と希望校の理事長に単身直談判に行き理事長を動かした、小学年6年生の三男はそんな兄二人を見て「俺の方が凄くなる！」と根拠のない自信に溢れていること。を挙げますが、沢山のお話の中で、参加した会員の皆さんの心に響いた言葉は様々だったと思います。

あつという間の2時間半の講演を聞いて、自分の子育て、教え方について改めて考える素晴らしい機会になりました。

講演後は学校毎に集まり、ワークショップ形式で講演会の感想、今後の活動に向けての夢等を話し合いました。

最後に、お話の中で共有しておきたいフレーズを載せますので、今後の活動に少しでも活かしていただければ幸いです。

- ・スイッチを入れてくれる師匠に出会おう
- ・「疲れた」を聞いた子どもは将来が暗くなる
- ・頼まれごととは試されごと
- ・子どもは自分から変わる

（広報委員長 菅野 正史）

会長あいさつ



北上市PTA連合会
会長 小原 和弘
(和賀東中学校PTA会長)

今年度、北上市PTA連合会会長という大役をお受けさせていただいております、北上市立和賀東中学校PTA会長の小原と申します。日頃より、北上市内小中学校26校のPTA会員の皆様には、連合会の活動に多大なる御協力を頂いておりますことに心より感謝申し上げます。今後とも、北上市PTA連合会発展のため御支援いただきますようお願いいたします。

さて、ある新聞に、学校における学習指導要領の改訂に伴い「道徳」という部分に力が注がれるという記事が載っておりました。道徳心はそもそも学校で学ばなければ体得できないものではなく、基本は家庭内、そして地域において「生きる基本」として、しっかり、そして、じっくりと教え込まれることが望ましいと感じます。学校における教育が不要と言っているのではなく、家庭で学んだ基本をもとに更に理解を深めるには学校、そして先生の力が必要不可欠であります。良く考えてみると、PTA連合会の活動は道徳教育に貢献していると言っても過言ではありません。学校（先生）、親、地域が一体となり

子どもたちの模範となってPTA活動を行うことは、これから前途多難な社会へ旅立つ子どもたちへのかけがえのないプレゼントとも言えるでしょう。PTA活動を通じた私達の願いは現時点においては子どもたちの心にはストレートに響かないのかもしれませんが、将来子どもたちが親となり母校の門をくぐる時には私達の願いという種が幹となり、花を咲かせてくれるものと信じております。

最後に、学校教育の基本は「分からないことが分かるようになり、できないことができるようになる」ことであります。その喜びを育む環境づくりに北上市PTA連合会役員一同一丸となり邁進してまいりますので、今後ともご支援の程宜しくお願ひします。

平成29年度北上市PTA連合会 役員

<会長>	小原 和弘	(和賀東中 P会長)
<副会長>	廣沼 雅秀	(笠松小 P会長)
	木野 渉	(黒沢尻東小 P会長)
	川邊 民弥	(北上北中 P会長)
	佐藤 真弘	(上野中 P会長)
	菅野 正史	(口内小 P会長)
<監事>	金田一 学	(和賀西小 P副会長)
	新山 久美	(南小 P副会長)
	菊池 伸明	(飯豊中 P副会長)
<顧問>	狩野 弘之	(前市P連会長・和賀西P会長)
<事務局長>	山蔭 深思	(和賀東中 事務局担当)

平成29年度北上市PTA連合会 (広報委員会)

<委員長>	菅野 正史	(口内小 P会長)
<副委員長>	川邊 民弥	(北上北中 P会長)
<委員>	片方 寛之	(黒沢尻西小 P会長)
	寺田 静江	(飯豊小 P会長)
	海野 義範	(更木小 P会長)
	新田 誠	(照岡小 P会長)
	成田 恵一	(南小 P会長)
	小田嶋 友和	(和賀西小 P会長)
	伊藤 文洋	(いわさき小 P会長)
	高橋 勝幸	(北上中 P会長)
	菊池 輪加子	(東陵中 P会長)
	菊池 勝	(江釣子中 P会長)
<事務局>	佐々木 美穂	(口内小 P事務局)
	佐藤 良二	(北上北中 P事務局)

編集後記

今年度の広報委員長、口内小学校の菅野です。北上のPTA会員全員に行きわたる広報を、まさか自分が手掛けるとは夢にも思っていませんでした。ですが、やるからには自分のカラーを出そうと思い、普段から取り組ん

でいる地域協力・地域連携を特集テーマとし、新たに各校の校章を入れてみました。結果、他校の地域との協力連携を知ることができ、校章も中々映えるので良かったと自負しております。いかがだったでしょうか。

広報作成で初めて知るWordの機能や、レイアウトの難しさ、やっているうちにどんどん楽しくなってきました。PTA会長もまた然り。やってみないと分からないことが沢山あります。本紙が、皆さんが更にPTA活動に積極的に参加するきっかけとなればこの上ない喜びです。

最後に、本紙を発行するにあたって原稿をお寄せいただいた、口内秘密基地プロジェクト実行委員会、会長をはじめ、母親委員会、広報委員会の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。